



住民自らの行動に結びつく
水害・土砂災害ハザード・リスク
情報共有プロジェクト

資料1

第1回由良川メディア連携協議会での 意見交換の対応

令和3年7月7日

福知山河川国道事務所

協議会時意見	協議会時事務局回答	対応状況
参加メディアを今後増やす予定は。	今後、他のメディアにも声かけし、参加意思があるメディアには参加していただく予定。	
電源が途絶えた時はラジオが活用でき、地域に密着した取組をしているので、コミュニティFM（FM いかる）に声掛けをお願いしたい。	今回は声かけしていないが、次回の協議会までには打診する予定。	今後も機会があるごとに声かけを行っていきます。 なお、コミュニティFM（FM いかる）に打診済みです。
避難情報の発信に関する取り組みを早急にすすめて行くべきであり、由良川における取組のスケジュール感は。	期限は定めていないが、人命に関わる取組は、優先的に取り組んでいく予定。	本日、「浸水ナビ」や「川の防災情報」を紹介します。
読みがなりリストやリスク情報を事前に提供する等の取組は早急にすすめていただきたい。	読みがなりリストは参考資料として配付している。必要な更新は随時していく予定。	本日、追加資料を参考資料として用意しています。
ニュース等で国土交通省等から公開されている映像を自由に使用してもよいか。	ニュース等で利用可能かは個別に確認させて頂く。	「水防災オープンデータ提供サービス」参照ください。
メディア連携協議会を通じた防災関連の情報提供はどのぐらいの頻度で提供してもらえるのか。	協議会は年1回の頻度で行い、必要な情報は随時提供していく予定。	今年度協議会は2回実施予定で、必要な情報は随時提供していきます。なお、要望があれば現地を見ていただくことも考えていますので、協議会等で意見ををお願いします。
避難インフルエンサーの養成等の取組は、会議を開いていない期間でも随時連絡いただきたい。	-	協議会の場合だけでなく、必要に応じて適宜情報提供を行っていきたくと考えています。
Youtube での緊急記者会見や専門家による解説の配信時間を予め教えていただきたい。	-	配信時間等の情報については、可能な限り早くTwitterに掲載するなど、情報共有を図っていきたくと考えています
災害時の情報窓口を一つにまとめていただきたい。	-	各関係機関の窓口については調整中ですので、確認でき次第、情報共有したいと考えています。

令和3年4月23日
水管理・国土保全局河川計画課

河川カメラ画像のデータ配信を始めます！ ～「水防災オープンデータ提供サービス」に新たな項目を追加～

国土交通省では、河川情報を民間企業のウェブサイトやアプリを通じて配信等に活用いただくため、「水防災オープンデータ提供サービス」において河川水位等のデータ配信事業を実施しています。

これまで提供してきた河川水位や雨量のデータに加え、新たに危機管理型水位計、河川カメラ画像の配信を開始します。

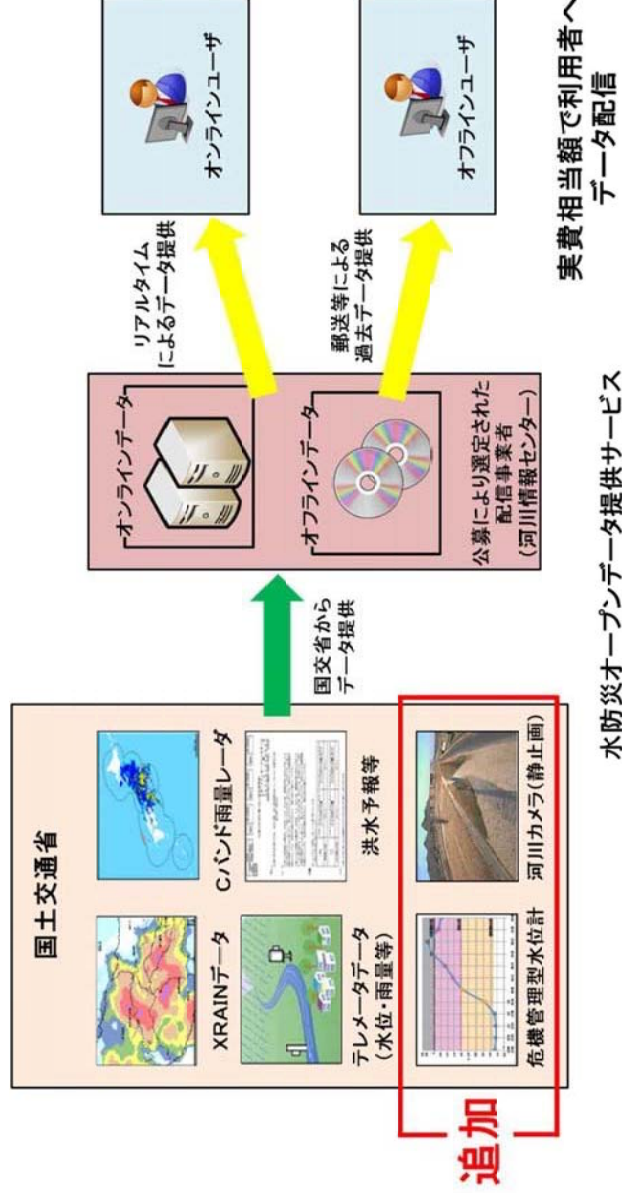
「水防災オープンデータ提供サービス」では、国が観測したレーダ雨量、雨量・水位等や全国の都道府県の雨量・水位、洪水予報等の河川情報数値データを、配信事業者（一般財団法人 河川情報センター）を通じて、民間事業者など受信希望者に対して有償（実費相当額を賄う範囲内）で配信しています。

このたび、河川の状態をリアルタイムをもって伝えることができる河川カメラの静止画像データ（CCTV：全国約3,000箇所、簡易型河川監視カメラ：全国約4,000箇所）や近年、新たに設置を進めてきた危機管理型水位計（全国約7,000箇所）など、新たな河川情報の配信を開始します。（本日より受付を開始。データの配信開始は6月頃を予定しています。）

データ配信を希望する方は、以下のウェブサイトよりお申し込み方法をご確認下さい。

「水防災オープンデータ提供サービス」 <http://www.river.or.jp/koeki/opendata/index.html>

今後とも、広く皆様に河川情報を活用頂けるよう、利用ニーズに合わせたデータ提供の充実に取り組んでまいります。



【問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
企画専門官 大坪(内線 35392)、流域情報分析企画係長 向山(内線 35394)
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446 FAX 03-5253-1602